

マウス膵臓発生の解析から 糖尿病の謎を紐解く

記

日時： 平成25年 6月24日
17:00~18:00

場所： M&Dタワー9階 大学院講義室4

対象： 希望者（事前登録不要）

I型およびII型糖尿病では、インシュリンを産生する膵臓β細胞を欠損している。多能性幹細胞からIn vitroでβ細胞を作成する手法は再生医療分野において高い可能性を秘めているが、機能的なβ細胞を大量に作成する効率的な方法は未だ確立されていない。従って、膵臓発生の分子メカニズムをin vivoとin vitroの双方から理解することが、機能的β細胞産生法を改善し、再生医療に代替β細胞を供給するという最終目標へと繋がる。（要旨より意識）

本セミナーではドイツよりDr. Lickertを招き、複数のマウスモデルを用いた膵臓発生解析や、Whole genome mRNA profilingより得られた知見について講義して頂く。また、新規に同定されたマウス膵臓発生関連遺伝子と、それらのヒト糖尿病における意味についても議論したい。



Deciphering diabetes by studying pancreas development in the mouse

Professor Heiko Lickert

+ Helmholtz Zentrum München,
Director,
Institute of Diabetes and Regenerationsforschung